

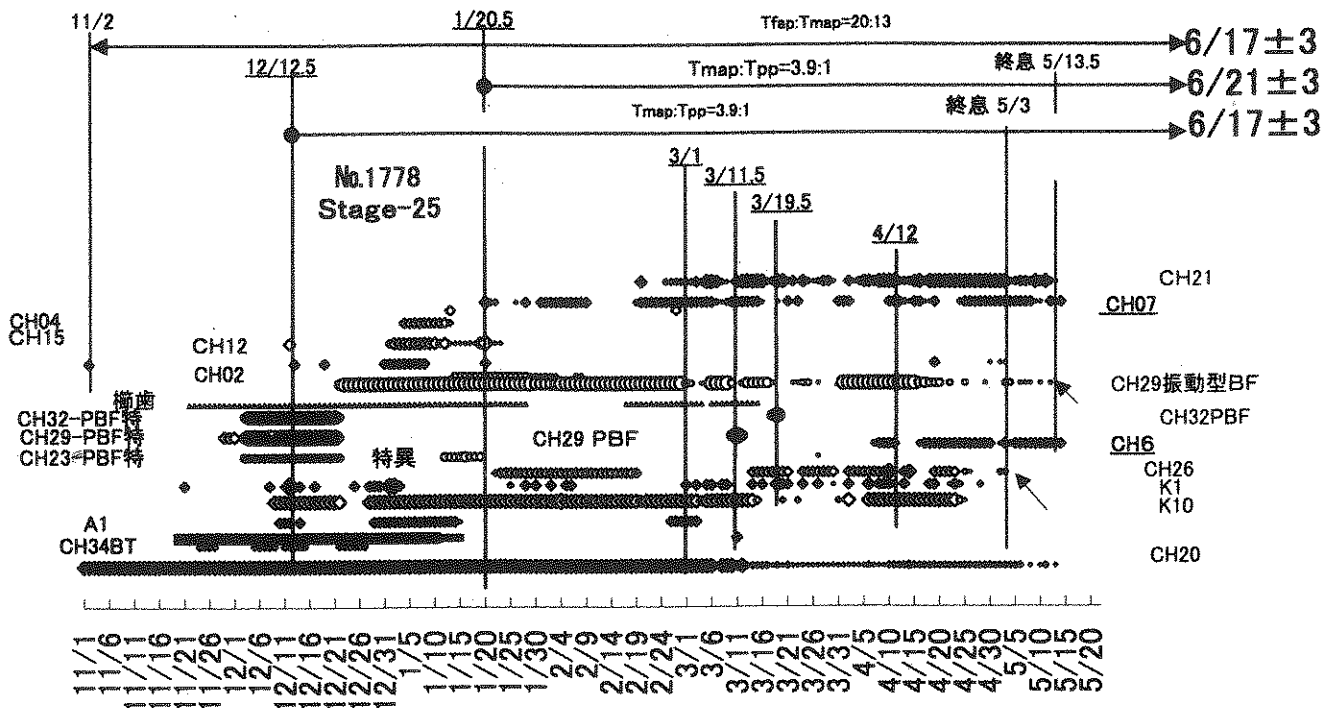
原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
 Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

※本続報はE-mail・Fax で日々配信しております「地震前兆検知観測情報」No.3096の一部を転載したものです。
 No.1778前兆に関しては、4/26配信の観測情報で5/18ではなく5/20±の可能性と共に6/17±の可能性についても報告し、5/9 配信の観測情報では、5/12±前兆が全て終息しない場合は06月の可能性が高まる報告をしておりました。昨日昼から継続前兆が2基終息したため、本日の観測を見て情報発信となりました。HPでは06月の可能性につきましては、報告が遅くなりましたこと、深くお詫び申し上げます。また、本HP上での問い合わせフォームに何か送られても、HP担当の方が小生の観測業務に支障をきたさない様な配慮から、小生の元へは何も届いておりませんので、重要案件等は弊天文台のFAX 宛に直接お送り頂ければ幸いです。以下観測情報より。

No.1778長期継続前兆続報

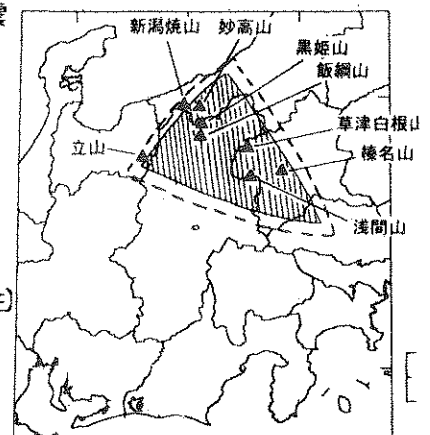
5/14本日 前兆2基のみ継続のため 早い場合=6/20±の可能性



No.1778長期前兆の続報です。4/26配信の観測情報から、現在の前兆関係からは5/20±の他、6/17±の可能性もあること、5/9 配信の観測情報では5/12±に全前兆が終息しない場合は6/17±の可能性が高まることを報告致しました。実際は、本日5/14午後現在、CH07が断続的特異、CH06特異継続中と、2基のみの観測装置の前兆が認められます。No.1778の最大前兆期では30基の観測装置に前兆が出現していましたので、現在の2基のみは殆ど静穏化に近い状態です。CH6, 7 のみ残り5/20±発生の可能性も若干懸念されますが、一応前兆が2基あることから5/20±の可能性は考えにくい。上前兆出現状況図に記した前兆関係が正しい場合は、最も早い場合で6/20±3 が示唆されます。今後の前兆終息変化等を鑑み、検証して続報させて戴きます。

No.1778前兆から推定される地震

- ◆推定領域=右図斜線域付近
- ◆推定規模=M7.8±0.5
- ◆推定時期=前兆終息後推定
最も早い可能性=6/20±3
(今後の観測で修正予定)
- ◇推定地震種=震源浅い陸域
地殻地震(火山近傍の可能性)
- ◇推定発生時刻=
午前09時30±1 時間
又は午後04時 ±3 時間



©Copyright 2019 YSBO 八ヶ岳南麓天文台

5/20±3 の可能性について完全否定は難しいことから、ここ数日内の変化で仮に6/20±ではなく、5/20±の可能性が高まった場合はすぐに続報を記します。但しHP担当の方の仕事等の都合で実際の更新が遅れる場合はご了承下さい。6/20±で良い場合は、数日内の更新は予定しておりません。ご理解下さい。